

降雨時等の試合中止の場合の取扱について (重要)

『1. 競技方法の(2)』の取扱は次のとおりとする。

○ 試合開始から40分経過する前に試合を中止した場合

(1) 「ノーゲーム」とし、再試合とする。

○ 「先攻チーム」が攻撃中に40分を経過し、試合を中止した場合

(1) 「ノーゲーム」とし、再試合とする。

○ 「後攻チーム」が攻撃中に40分を経過し、試合を中止した場合

(1) 先攻チームがリードしているか、同点の場合は、後攻チームの攻撃が終了していなければ「ノーゲーム」とし、再試合とする。

	1	2	3	4	5
A	0	0	1	0	1
B	1	0	0	0	×

	1	2	3	4	5
A	0	0	1	0	0
B	1	0	0	0	×

攻撃が終了していなければ、「ノーゲーム」

(2) 後攻チームがリード（同点からの勝ち越しも含む）している場合は、その時点で「試合成立」とし、後攻チームの勝ちとする。

	1	2	3	4	5
A	0	1	0	0	0
B	0	0	2	0	×

	1	2	3	4	5
A	0	0	1	0	0
B	1	0	0	0	1×

攻撃の途中であっても2対1で、後攻チームの「勝ち」

(3) 後攻チームが同点に追いついて中止した場合は、攻撃が終了していなくても「抽選（ジャンケン）」で勝敗を決定する。

	1	2	3	4	5
A	0	1	0	0	0
B	0	0	0	0	1×

後攻チームの攻撃が終了していなくても1対1で「抽選」

○ 40分を経過した後のイニングで中止した場合

(1) 先攻チームの攻撃中に中止した場合は、直前のイニングまでの合計得点により、勝敗を決定する。

(例－1) 4回終了時点で40分経過し、5回表で中止した場合
(4回までの合計得点により、勝敗を決定)

・スコア例－1

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
A	0	0	1	1	1×		A	0	0	1	1	0×
B	1	0	0	0			B	1	0	0	0	

「2対1」で先攻チームの勝ち

・スコア例－2

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
A	0	1	0	0	2×		A	0	1	0	0	0×
B	1	0	1	0			B	1	0	1	0	

「2対1」で後攻チームの勝ち

・スコア例－3

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
A	0	1	0	1	1×		A	0	1	0	1	0×
B	1	0	1	0			B	1	0	1	0	

「2対2」で抽選

(例－2) 4回終了時点で40分経過した後、6回表で中止した場合は、5回までの合計得点により、勝敗を決定する。

・スコア例－1

	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
A	0	0	1	0	2	0×		A	0	0	1	0	2	0×
B	1	0	0	1	0			B	1	0	0	0	1	

「3対2」で先攻チームの勝ち

※ 後攻チームの「勝ち」、同点による「抽選」も同様の考え方。

(2) 後攻チームの攻撃中に中止した場合

(例－1) 4回終了時点で40分経過し、5回裏で中止した場合

・スコア例－1

先攻チームがリードしている場合は、後攻チームの攻撃が終了していなければ、4回までの合計得点で勝敗を決定する。

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
A	0	1	0	1	0	A	0	1	0	0	3
B	0	0	1	0	×	B	1	0	1	0	×

「2対1」で先攻チームの勝ち

「2対1」で後攻チームの勝ち

・スコア例－2

後攻チームがリード（同点からの勝ち越しも含む）している場合は、その時点で「試合成立」とし、後攻チームの勝ちとする。

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
A	0	1	0	1	0	A	0	1	0	1	0
B	1	0	2	0	×	B	1	0	1	0	1×

「3対2」で後攻チームの勝ち

「3対2」で後攻チームの勝ち

スコア例－3

後攻チームが同点に追いついて中止した場合は、攻撃が終了していなくても「抽選（ジャンケン）」で勝敗を決定する。

	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
A	0	1	0	1	0	A	0	1	0	0	2
B	1	0	0	0	1×	B	1	0	1	0	1×

「2対2」で抽選

「3対3」で抽選

(例－2) 4回終了時点で40分経過し、6回裏で中止した場合

- ・先攻チームがリードしている場合は、後攻チームの攻撃が終了していなければ、5回までの合計得点で勝敗を決定する。
- ・後攻チームがリード（同点からの勝ち越しも含む）している場合は攻撃が終了していなくても、その時点で「試合成立」とし、後攻チームの勝ちとする。
- ・後攻チームが同点に追いついて中止した場合は、攻撃が終了していなくても「抽選（ジャンケン）」で勝敗を決定する。